

研究機関：広島大学

研究課題名	Computed diffusion weighted image (DWI)画像作成における至適撮像条件の検討
研究責任者名	医歯薬保健学研究院 放射線診断学 教授 栗井 和夫
研究期間	倫理委員会承認後 ～ 平成 29 年 12 月
対象者	平成 28 年 12 月から平成 29 年 1 月の間に、広島大学病院で MRI が施行された 20 歳以上の医療スタッフ 10 名。
意義・目的	Computed DWI画像は、病変をより明瞭に描出し、かつノイズ（ざらつき）の少ない画像として近年注目されていますが、画像を作成する上での最適条件が決まっています。今回の検討は、過去に撮影されたMRI画像を用いてこの最適条件を決定することです。
方法	本研究は、大学病院で過去に撮影されたMRIの画像データに対して画像処理、統計解析を行う研究です。研究に必要な調査項目は、対象者の性別、年齢、MRI画像です。 (個人を特定可能な情報は解析に用いません)
共同研究機関	東芝メディカルシステムズと共同研究契約を結んでいます。東芝社は資金の提供のみで解析等には参加せず、結果に影響を及ぼすことはありません。
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりすることなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合は口頭で研究担当者へお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 T e l : 082-257-5257 広島大学病院 放射線診断科 講師 立神史稔